

*Luxman*

CONTROL AMPLIFIER

C-600f

*Owner's Manual*

このたびは、ラックスマンのコントロール・アンプリファイヤー C-600fをお求めいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前にこのオーナーズマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただくことで本機の性能が十分に発揮され最高のグレードで音楽再生をお楽しみいただけることと思います。

なお、お読みになった後は、保証書・安全上のご注意と共に大切に保管してください。

## 目 次

使用上の注意	3
各部の名称と用途	4
リモコンの名称と用途	12
リモコンについて	23
接続図／接続方法	24
C-600f BLOCK DIAGRAM	27
規格	30
アフターサービスと品質保証について	31
修理に出される前に	32

## 使用上の注意

### アンプの置き場所について

換気や放熱が十分行われる場所に設置してください。

とくに、直射日光の当たる場所、ストーブのすぐそばなどの高温になる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などに設置すると、放熱がスムーズでも故障の原因になることがあります。このような場所への設置は避けてください。

### 入出力機器接続時のご注意

本機と CD プレーヤー、チューナーなどの入力機器およびパワーアンプなどの出力機器を接続するときには、本機と入力機器および出力機器の電源スイッチを必ず切っておいてください。

本機と入力機器および出力機器に電源が入っていると、大きな雑音が発生することがあります。

また、本機の入出力端子に差し込むピンプラグはしっかりと差し込んでください。入力機器の出力端子と出力機器の入力端子に差し込むピンプラグも同様です。

ピンプラグのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生し、S/N 比が悪化する原因になります。

### アンプ電源 ON 後すぐには音が出ません

本機には、電源オン後アンプが安定した状態になるまでの間、入力回路および出力回路を切り離すためのタイム・ミュート回路が組み込まれていて、オペレーション・インジケータが青色に点滅かつ WARMING UP 表示をして動作準備中であることを示します。

スタンバイ中、もしくはタイム・ミュート回路が動作している間は、本機の音量ボリュームは操作できません。以前に使用したときの本機の音量ボリュームを大きな値に設定していると、動作状態になったときに急に大きな音が出てくることとなりますのでご注意ください。

### 修理・調整について

修理、調整などが必要なときは、お買い上げの販売店、もしくはお近くの弊社サービスセンターへご依頼ください。

### お手入れについて

お手入れは、市販のクリーニングクロスなどの柔らかい布で拭いてください。汚れのひどいときは、中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で汚れを落とし、乾いた布で拭き取ってください。

なお、ベンジン、シンナーなどの溶剤は、外観を損ねるため使用しないでください。

---

### 安全上のご注意

---



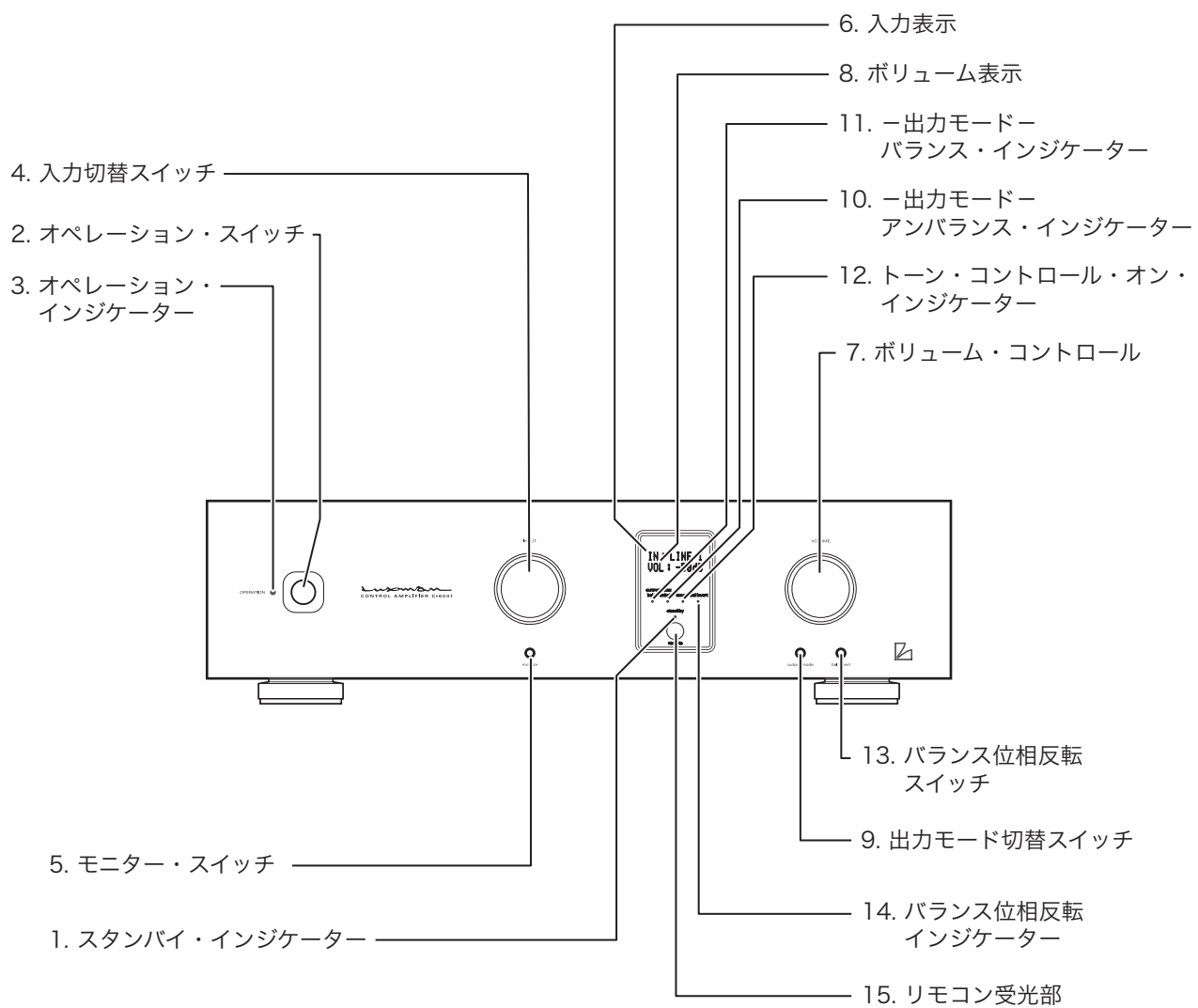
## 警告



本機は重いので開梱や持ち運び、設置は、必ず2人以上でおこなってください。けがの原因となることがあります。

# 各部の名称と用途

## フロントパネル



## 1. スタンバイ・インジケーター / stand by

リアパネルにあるメイン電源スイッチを ON にすると、このインジケーターが黄色に点灯し、スタンバイ状態になったことを示します。

メイン電源スイッチを OFF にすると、このインジケーターが消灯して、シャットダウン状態になります。

## 2. オペレーション・スイッチ / OPERATION

スタンバイ状態のときにこのスイッチを押すとスタンバイ・インジケーターが消灯し、かつ WARMING UP が表示され動作準備に入ります。一定時間経過すると各モードの設定が表示され、動作状態になります。

動作状態のときにもう一度このスイッチを押すとスタンバイ状態になります。

## 3. オペレーション・インジケーター / OPERATION

スタンバイ状態のときにオペレーション・スイッチを押すと青色に点滅して動作準備中であることを示します。一定時間経過すると青色に点灯して動作状態であることを示します。

動作状態のときにもう一度オペレーション・スイッチを押すとこのインジケーターが消灯しスタンバイ・インジケーターが点灯します。

## 4. 入力切替スイッチ / INPUT

リアパネルにあるアンバランス入力端子 LINE-1, LINE-2, LINE-3, LINE-4, LINE-5 とバランス入力端子 BAL LINE-1, BAL LINE-2, を選択する入力セクタースイッチです。

・ 右に回すと LINE-1 → LINE-2 → LINE-3 → LINE-4 → LINE-5 → BAL LINE-1 → BAL LINE-2 → LINE-1……と変化します。

・ 左に回すと LINE-1 → BAL LINE-2 → BAL LINE-1 → LINE-5 → LINE-4 → LINE-3 → LINE-2 → LINE-1……と変化します。

工場出荷時は、LINE-1 に設定されています。

入力を切り替えている間は、入出力ミューティング回路が作動し、音がでません。

## 5. モニター・スイッチ / monitor

リアパネルにあるモニター入力端子 MONITOR を選択する入力セクタースイッチです。

・ 1 回押すたびに MONITOR OFF → MONITOR ON → MONITOR OFF → MONITOR ON……と変化します。

工場出荷時は、MONITOR OFF に設定されています。

入力を切り替えている間は、入出力ミューティング回路が作動し、音がでません。

## 6. 入力表示 / IN :

いま選択されている入力端子を表示します。

- ・ LINE-1 のときは、IN : LINE-1
- ・ LINE-2 のときは、IN : LINE-2
- ・ LINE-3 のときは、IN : LINE-3
- ・ LINE-4 のときは、IN : LINE-4
- ・ LINE-5 のときは、IN : LINE-5
- ・ BAL LINE-1 のときは、IN : BAL.-1
- ・ BAL LINE-2 のときは、IN : BAL.-2
- ・ MONITOR のときは、IN : MONITOR

## 各部の名称と用途

### 7. ボリューム・コントロール／ VOLUME

本機の出カレベルを調節するコントロールノブです。

このノブを回転させると出カレベルが変化します。

- ・ 右に回すと、ミュート→-71dB → 0dB と 1dB ステップで音量が大きくなります。
- ・ 左に回すと、0dB → -71dB →ミュートと 1dB ステップで音量が小さくなります。

工場出荷時は、ミュート状態に設定されています。

### 8. ボリューム表示／ VOL :

現状の出カレベルを 1dB ステップで表示します。

- ・ — はミュート状態を示し、音はでません。
- ・ -71dB が最も小さい音量で 0dB が最大音量となります。

工場出荷時は、ミュート状態に設定されていますので最初にオペレーション状態にしたときは — を表示します。

### 9. 出カモード切替スイッチ／ output mode

アンバランス出カ、バランス出カ、ボス (アンバランス + バランス) 出カの 3 種類の出カモードを選択する出カセレクタースイッチです。

- ・ このスイッチを押す度に、UNBAL → BAL → BOTH → UNBAL……と変化します。
- ・ アンバランス出カ／ UNBAL

アンバランス出カの LINE-1 と LINE-2 から音楽が出カされます。

- ・ バランス出カ／ BAL

バランス出カの BAL LINE-1 と BAL LINE-2 から音楽が出カされます。

- ・ ボス出カ／ BOTH

アンバランス出カの LINE-1 と LINE-2 から音楽が出カされ、バランス出カの BAL LINE-1 と BAL LINE-2 から音楽が出カされます。

工場出荷時は、アンバランス出カ端子 LINE-1, LINE-2 に設定されています。

BOTH を選択するとアンバランス・インジケーターとバランス・インジケーターの両方が点灯します。

出カモードを切り替えている間は、入出力ミュート回路が作動し、音がでません。

### 10. -出カモード- アンバランス・インジケーター／- OUTPUT MODE - unbal

出カがアンバランス出カ端子の LINE-1 と LINE-2 であることを青色に点灯して示します。

工場出荷時は、アンバランス出カモードに設定されています。

### 11. -出カモード- バランス・インジケーター／- OUTPUT MODE - bal

出カがバランス出カ端子の BAL LINE-1 と BAL LINE-2 であることを青色に点灯して示します。

## 12. トーン・コントロール・オン・インジケータ― / tone

トーン・コントロール機能が作動していることを青色に点灯して示します。

トーン・コントロール機能のオン・オフ切替と BASS, TREBLE 調節はリモコンでおこないます。工場出荷時は、トーン・コントロールがオンに設定されています。トーン・コントロールのオン／オフを切り替えている間は、入出力ミュート回路が作動し、音がでません。

## 13. バランス位相反転スイッチ / bal invert

本機のプリセット機能で設定したバランス位相を反転させるための切替スイッチです。バランス入力とバランス出力の位相を本機のプリセットに対して反転しなければいけないときに、このスイッチを押して本機のバランス位相を逆相にします。このスイッチを押す度に、NORMAL → INVERT → NORMAL → INVERT……と変化します。バランス位相を切り替えている間は、入出力ミュート回路が作動し、音がでません。

工場出荷時のバランス位相反転スイッチは、ノーマルに設定されています。

## 14. バランス位相反転インジケータ― / bal invert

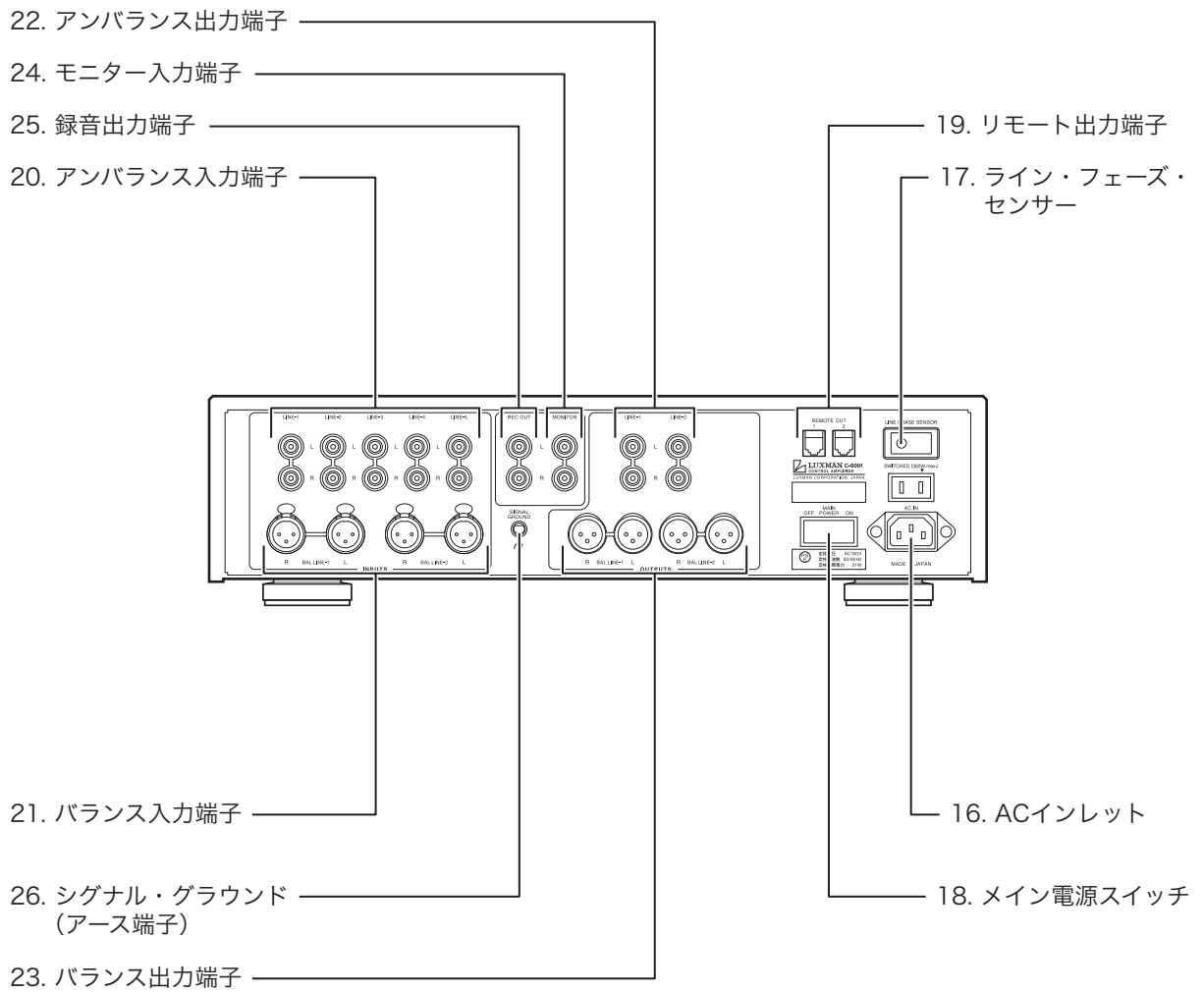
バランス入力とバランス出力の位相が本機のプリセットに対して、逆相になっていることを青色に点灯して示します。

## 15. リモコン受光部 / remote

リモコンからの光信号を受光するレシーバーがこの位置に設置されていますので、リモコンの発光部をこの位置に向けてリモコン操作をおこなってください。リモコン受光部がマスクされているとリモコン操作が確実に行われない場合がありますので、この位置の近くに置物など置かないようにしてください。

# 各部の名称と用途

## リアパネル





## 16. AC インレット / AC IN

付属の電源ケーブルを接続します。

電源は AC100V 家庭用コンセントをご使用ください。

## 17. ライン・フェーズ・センサー / LINE PHASE SENSOR

電源ケーブルを AC コンセントに差し込むときに、電源の極性を確認するセンサーとインジケータです。

電源ケーブルを本機の AC インレットと AC コンセントに差し込んだ後に指でセンサーにかかるく触れ、インジケータが消えたままであれば正常な極性です。インジケータが点灯する場合は、AC コンセントへの電源プラグの差し込みを逆にしてください。インジケータを確認する際は、正面から見てください。

電源極性のチェックは、他の機器からの影響を取り除くため、他の機器との接続前におこなってください。

また、マンションなど、電源がフローティングされている場合は、極性が変化しないこともあります。このような場合は、どちらの極性にしてもさしつかえありません。

## 18. メイン電源スイッチ / MAIN POWER

本機をスタンバイ状態にするためのメイン電源スイッチです。

このスイッチを ON にすると、フロントパネルにあるスタンバイ・インジケータが黄色に点灯し、本機がスタンバイ状態になったことを示します。

このスイッチを OFF にすると、フロントパネルにあるスタンバイ・インジケータが消灯し、シャットダウン状態になったことを示します。

## 19. リモート出力端子 / REMOTE OUT

このリモート出力端子に専用リモート入力端子のあるパワーアンプ (M-600A など) と専用リモートケーブルで接続すると、本機のオペレーション・スイッチに連動して受給側パワーアンプの電源を ON/OFF することができます。

このリモート出力端子からの ON 信号は、本機のオペレーション・スイッチを押してから一定時間後に発信されますので、受給側パワーアンプのミュート時間に加えた時間が経過した後に受給側パワーアンプが動作状態になります。

リモート出力端子は、2 つ用意されていて、同時に 2 台のパワーアンプを ON/OFF することができます。

受給側パワーアンプの動作可能設定については、受給側パワーアンプのオーナーズマニュアルを参照してください。

## 20. アンバランス入力端子 / INPUTS (LINE-1, LINE-2, LINE-3, LINE-4, LINE-5)

ラインレベルのアンバランス音楽信号を入力するコアキシャル入力端子で、全部で LINE-1、LINE-2、LINE-3、LINE-4、LINE-5 の 5 系統用意されています。

CD プレーヤーなどの入力機器のアンバランス出力とピンプラグ・ケーブルを使用し接続してください。

LINE-1、LINE-2、LINE-3、LINE-4、LINE-5 に入力された音楽信号は、フロントパネルにある入力切替スイッチで選択され出力されます。

LINE-1、LINE-2、LINE-3、LINE-4、LINE-5 は同等の品質であり、お好みの入力端子にお好みの入力機器を接続してください。

## 各部の名称と用途

### 21. バランス入力端子 / INPUTS (BAL LINE-1, BAL LINE-2)

ラインレベルのバランス音楽信号を入力するキャノンコネクター入力端子で、全部で BAL LINE-1、BAL LINE-2 の 2 系統用意されています。

CD プレーヤーなどの入力機器のバランス出力とバランス・ケーブルを使用し接続してください。BAL LINE-1、BAL LINE-2 に入力された音楽信号は、フロントパネルにある入力切替スイッチで選択され出力されます。

BAL LINE-1、BAL LINE-2 は同等の品質であり、お好みの入力端子にお好みの入力機器を接続してください。

### 22. アンバランス出力端子 / OUTPUTS (LINE-1, LINE-2)

本機のアンバランス音楽信号を出力するコアキシャル出力端子で、全部で LINE-1、LINE-2 の 2 系統用意されています。

パワーアンプなどの出力機器のアンバランス入力にピンプラグケーブルを使用して接続してください。

LINE-1、LINE-2 に出力される音楽信号は、出力モード切替スイッチで選択され出力されます。

出力モード	LINE-1 L ch	LINE-1 R ch	LINE-2 L ch	LINE-2 R ch
UNBAL	Lch の音がでます	Rch の音がでます	Lch の音がでます	Rch の音がでます
BAL	音がでません	音がでません	音がでません	音がでません
BOTH	Lch の音がでます	Rch の音がでます	Lch の音がでます	Rch の音がでます

LINE-1、LINE-2 は同等の品質であり、お好みの出力端子にお好みの出力機器を接続してください。工場出荷時の出力モードは、アンバランスに設定されています。

### 23. バランス出力端子 / OUTPUTS (BAL LINE-1, BAL LINE-2)

本機のバランス音楽信号を出力するキャノンコネクター出力端子で、全部で BAL LINE-1、BAL LINE-2 の 2 系統用意されています。

パワーアンプなどの出力機器のバランス入力にバランスケーブルを使用して接続してください。

BAL LINE-1、BAL LINE-2 に出力される音楽信号は、出力モード切替スイッチで選択され出力されます。

出力モード	BAL LINE-1 L ch	BAL LINE-1 R ch	BAL LINE-2 L ch	BAL LINE-2 R ch
UNBAL	音がでません	音がでません	音がでません	音がでません
BAL	Lch の音がでます	Rch の音がでます	Lch の音がでます	Rch の音がでます
BOTH	Lch の音がでます	Rch の音がでます	Lch の音がでます	Rch の音がでます

BAL LINE-1、BAL LINE-2 は同等の品質であり、お好みの出力端子にお好みの出力機器を接続してください。

工場出荷時の出力モードは、アンバランスに設定されています。

### 24. モニター入力端子 / MONITOR

レコーダーの音楽信号を入力するコアキシャル入力端子です。

レコーダーのライン出力とピンプラグ・ケーブルを使用し接続してください。

モニター入力端子に入力された音楽信号は、フロントパネルにあるモニター・スイッチで選択され出力されます。

工場出荷時は、MONITOR OFF に設定されています。

## 25. 録音出力端子 / REC OUT

入力切替スイッチで選択された入力機器の音楽信号を出力するコアキシャル出力端子です。レコーダーのライン入力とピンプラグ・ケーブルを使用し接続してください。

録音出力端子から出力される音楽信号は、トーン・コントロール機能やボリューム・コントロール機能及び LR バランス機能の影響は受けません。

この出力端子はリモコンのプリセット機能を使用してオン／オフすることができます。

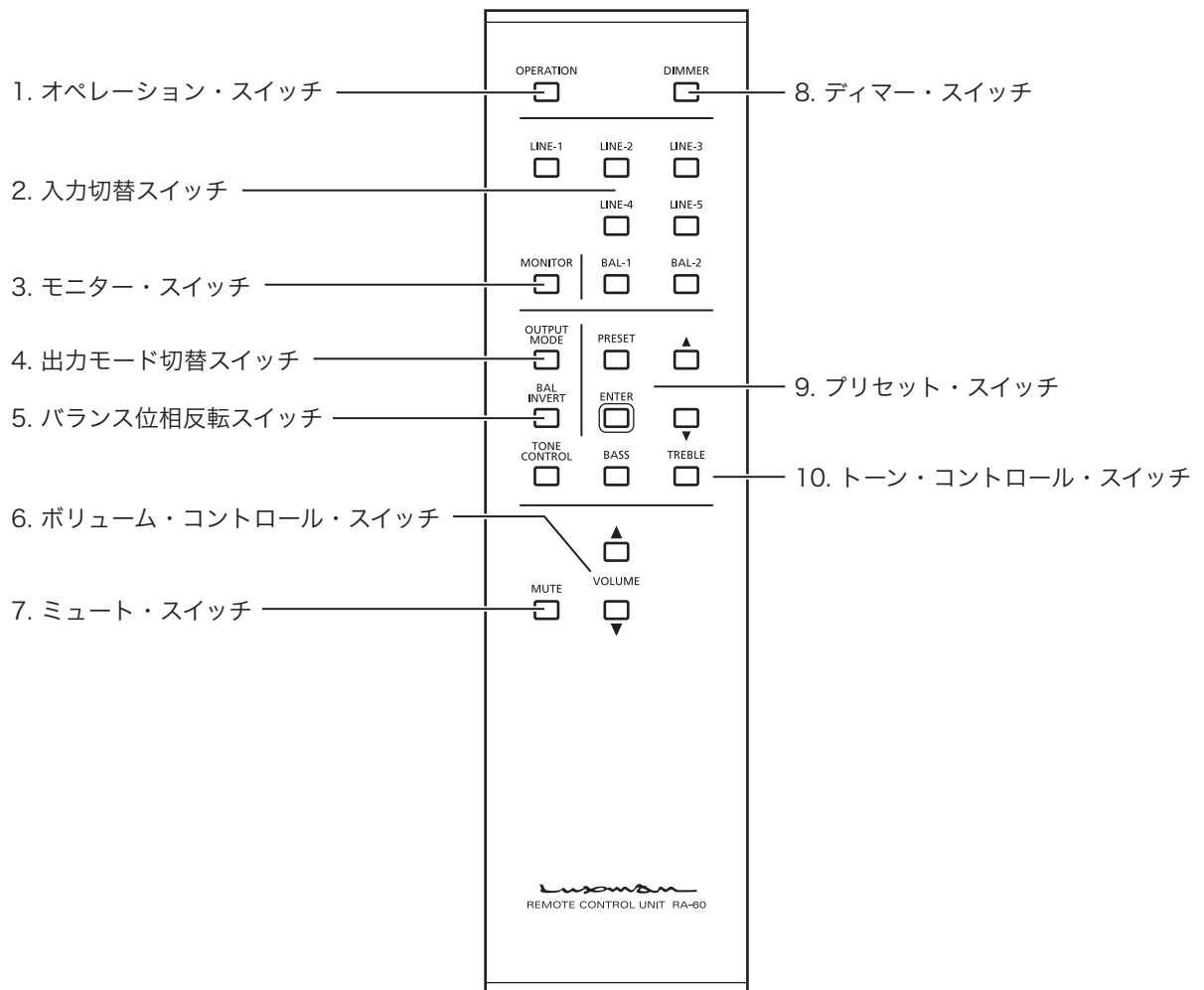
工場出荷時は、REC OUT ON に設定されています。

## 26. シグナル・グラウンド（アース端子） / SIGNAL GROUND

本機に接続する機器のアース用端子です。

この端子は、他の機器を接続した場合の雑音低減をはかるためのもので、安全のためのアースではありません。

# リモコンの名称と用途



## 1. オペレーション・スイッチ / OPERATION

スタンバイ状態のときにこのスイッチを押すとスタンバイ・インジケータが消灯し、オペレーション・インジケータが点滅を開始しかつ WARMING UP が表示され動作準備に入ります。一定時間経過するとオペレーション・インジケータが点灯し各モードの設定が表示され、動作状態になります。動作状態のときにもう一度このスイッチを押すとスタンバイ状態になります。

WARMING UP

## 2. 入力切替スイッチ / LINE-1, LINE-2, LINE-3, LINE-4, LINE-5, BAL-1, BAL-2

リアパネルにあるアンバランス入力端子 LINE-1, LINE-2, LINE-3, LINE-4, LINE-5 とバランス入力端子 BAL LINE-1, BAL LINE-2 を選択する入力セレクタースイッチです。

- ・ LINE-1 を押すと、LINE-1 が選択されます。
- ・ LINE-2 を押すと、LINE-2 が選択されます。
- ・ LINE-3 を押すと、LINE-3 が選択されます。
- ・ BAL-1 を押すと、BAL LINE-1 が選択されます。
- ・ LINE-4 を押すと、LINE-4 が選択されます。
- ・ LINE-5 を押すと、LINE-5 が選択されます。
- ・ BAL-2 を押すと、BAL LINE-2 が選択されます。

IN: LINE-1  
VOL: -71dB

IN: BAL.-1  
VOL: -71dB

入力を切り替えている間は、入出力ミューティング回路が作動し、音がでません。

## 3. モニター・スイッチ / MONITOR

リアパネルにあるモニター入力端子 MONITOR を選択する入力セレクタースイッチです。

- ・ 1 回押すたびに MONITOR OFF → MONITOR ON → MONITOR OFF → MONITOR ON……と変化します。

IN: MONITOR  
VOL: -71dB

入力を切り替えている間は、入出力ミューティング回路が作動し、音がでません。

## 4. 出力モード切替スイッチ / OUTPUT MODE

アンバランス出力、バランス出力、ボス (アンバランス + バランス) 出力の 3 種類の出力モードを選択する出力セレクタースイッチです。

- ・ このスイッチを押す度に、UNBAL → BAL → BOTH → UNBAL……と変化します。
- ・ アンバランス出力 / UNBAL  
アンバランス出力の LINE-1 と LINE-2 から音楽が出力されます。
- ・ バランス出力 / BAL  
バランス出力の BAL LINE-1 と BAL LINE-2 から音楽が出力されます。
- ・ ボス出力 / BOTH  
アンバランス出力の LINE-1 と LINE-2 から音楽が出力され、バランス出力の BAL LINE-1 と BAL LINE-2 から音楽が出力されます。

出力モードを切り替えている間は、入出力ミューティング回路が作動し、音がでません。

出力モードごとにプリセットの設定値が記憶されます。

## リモコンの名称と用途

### 5. バランス位相反転スイッチ／BAL INVERT

本機のプリセット機能で設定したバランス位相を反転させるための切替スイッチです。バランス入力とバランス出力の位相を本機のプリセットに対して反転しなければいけないときに、このスイッチを押して本機のバランス位相を逆相にします。

このスイッチを押す度に、NORMAL → INVERT → NORMAL → INVERT……と変化します。バランス位相を切り替えている間は、入出力ミュート回路が作動し、音がでません。

### 6. ボリューム・コントロール・スイッチ／VOLUME

本機出力レベルを調節するスイッチです。

このスイッチを押すと出力レベルが変化します。

- ・▲を押すと、ミュート→-71dB → 0dB と 1dB ステップで音量が大きくなります。
- ・▼を押すと、0dB → -71dB →ミュートと 1dB ステップで音量が小さくなります。
- ・▲、▼を押し続けると音量を早く調節することができます。連続押しの場合、-71dB ⇔ -36dB までの変化は高速で変化します。-36dB ⇔ -18dB までの変化は若干遅くなり、-18dB ⇔ 0dB までの変化は遅くなります。
- ・各チャンネルの実際のレベルは、ボリューム表示値にプリセットでの設定値を加減算した値になります。

```
IN: BAL.-1
VOL: 0dB
```

```
IN: BAL.-1
VOL: -71dB
```

```
IN: BAL.-1
VOL: --dB
```

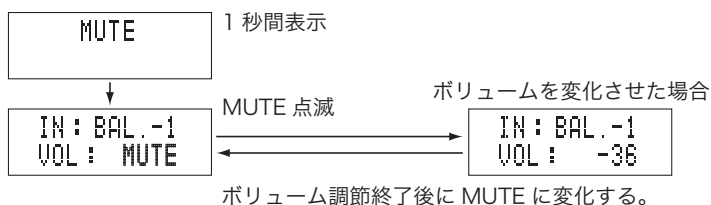
オペレーション状態からスタンバイ状態に切り替えた時は、ボリュームレベルを記憶します。また、スタンバイ状態からメイン電源スイッチを切った場合も、ボリュームレベルを記憶します。オペレーション状態からオペレーション・スイッチを押さずに直接メイン電源スイッチを切った場合、ボリュームレベルはミュートにセットされます。

### 7. ミュート・スイッチ／MUTE

一時的に現在の音量を記憶したまま消音するためのスイッチです。

消音している時に、もう一度ミュート・スイッチを押すと元の音量で音楽が出力されます。

ミュート中にボリュームを変化させても、ボリューム量は変化しますが、ミュートは解除されません。



### 8. ディマー・スイッチ／DIMMER

本体表示の明るさを調節します。消灯から通常の点灯まで明るさを 4 段階に切り替えられます。

1 回押すごとに、通常→やや暗い→かなり暗い→消灯→通常……と変化します。

表示を消灯すると、DISPLAY OFF の文字が 1 秒間表示され、その後に消灯します。

工場出荷時は、通常に設定されています。

```
DISPLAY
OFF
```

1 秒間表示

## 9. プリセット・スイッチ / PRESET

出力モードごとに左右の音量バランス調節をおこなうとき、バランスの入出力位相設定をおこなうとき、録音出力端子への音楽信号供給をオン / オフするときにこのスイッチを押します。

・1回押すごとに設定できる項目とその表示が、下記のように変化します。

通常表示 → LR BALANCE → BAL PHASE → REC OUT → 通常表示 → LR BALANCE……

### エンター・スイッチ / ENTER

調節や設定をおこなったときその設定値を決定するときにこのスイッチを押します。

#### ▲スイッチ / UP

#### ▼スイッチ / DOWN

調節や設定をおこなうときレベルや設定を変化させるときにこのスイッチを押します。

### 左右の音量バランス調節 / PRESET LR BALANCE

出力モードのアンバランス、バランス、ボスごとに調節でき、設定値も出力モードごとに記憶されます。

- (1) PRESET スイッチを押します。Ⓐの1段目の表示に変わり、プリセット・モードになります。LR BALANCE の文字が点滅しますので、Lch と Rch のレベル差調節をおこなうときは ENTER スイッチを押します。Lch と Rch のレベル差調節をおこなわないときは PRESET スイッチを押し次の BAL PHASE 設定に進みます。
- (2) ENTER スイッチを押した場合、L-CH のレベルが点滅し、Lch のレベル調節が可能になります。  
(Ⓐの2段目の表示)
- (3) ▲を押すと、1dB ステップで Lch の音量が大きくなります。  
▼を押すと、1dB ステップで Lch の音量が小さくなります。  
±6dB の範囲で調節可能です。  
例) ▲を一度押すと、+1dB の表示になります。(Ⓐの3段目の表示)  
Rch のレベル調節をおこなわないときは、PRESET スイッチを押し次の BAL PHASE 設定に進みます。
- (4) ENTER スイッチを押すと、Ⓐの4段目の表示に変わります。  
R-CH のレベルが点滅し、Rch のレベル調節が可能になります。  
Rch のレベル調節をおこなわないときは、PRESET スイッチを押し次の BAL PHASE 設定に進みます。
- (5) ▲を押すと、1dB ステップで Rch の音量が大きくなります。  
▼を押すと、1dB ステップで Rch の音量が小さくなります。  
±6dB の範囲で調節可能です。  
例) ▼を一度押すと、-1dB の表示になります。(Ⓐの5段目の表示)
- (6) ここで ENTER スイッチを押すと、(2) の調節に戻り、再度 Lch のレベル調節をおこなえます。PRESET スイッチを押すと、次の BAL PHASE 設定に進みます。  
どの状態でも、PRESET スイッチを押すと設定が決定され LR BALANCE を終了し、次の BAL PHASE 設定に進みます。  
また、1分間入力をおこなわないと事前の設定を記憶した状態でこのモードを解除し、通常表示に戻ります。



## リモコンの名称と用途

### バランス位相設定 / PRESET BAL PHASE

入出力機器と本機のバランス位相合わせを入力と出力独立して設定することができます。

入力機器の位相 (CD プレイヤーなど)	本機の入力設定	出力機器の位相 (パワーアンプ)	本機の出力設定
	IN :BAL-1 IN :BAL-2		BAL OUT
③+, ②-	③+, ②-	③+, ②-	③+, ②-
③-, ②+	③-, ②+	③-, ②+	③-, ②+

- (1) PRESET スイッチを 2 回押します。⑥ の 1 段目の表示に変わり、プリセット・モードになります。  
BAL PHASE の文字が点滅しますので、バランス位相変更をおこなうときは ENTER スイッチを押します。バランス位相変更をおこなわないときは PRESET スイッチを押し次の REC OUT 設定に進みます。
- (2) ENTER スイッチを押した場合、INPUT-1 の 3+,2- が点滅し、バランス入力の BAL LINE-1 の位相反転設定が可能になります。(⑥ の 2 段目の表示)  
更に ENTER スイッチを押すと、バランス入力の BAL LINE-2 の位相反転設定に進みます。  
PRESET スイッチを押すと、次の REC OUT 設定に進みます。
- (3) ▲あるいは▼を押すと、バランス入力の BAL LINE-1 の位相が反転し 3-,2+ の表示にかわります。  
(⑥ の 3 段目の表示) もう一度▲あるいは▼を押すと、元の位相設定の 3+,2- にもどります。  
[PRESET スイッチを押すと、次の REC OUT 設定に進みます。]
- (4) 次に ENTER スイッチを押すと、変更設定が決定されバランス入力の BAL LINE-2 の位相反転設定に進みます。INPUT-2 の 3+,2- が点滅し、バランス入力の BAL LINE-2 の位相反転設定が可能になります。(⑥ の 4 段目の表示)  
更に ENTER スイッチを押すと、BAL OUT の位相反転設定に進みます。  
PRESET スイッチを押すと、次の REC OUT 設定に進みます。
- (5) ▲あるいは▼を押すと、バランス入力の BAL LINE-2 の位相が反転し 3-,2+ の表示にかわります。  
(⑥ の 5 段目の表示) もう一度▲あるいは▼を押すと、元の位相設定の 3+,2- にもどります。  
[PRESET スイッチを押すと、次の REC OUT 設定に進みます。]
- (6) 次に ENTER スイッチを押すと、変更設定が決定され BAL OUT の位相反転設定に進みます。OUTPUT の 3+,2- が点滅し、バランス出力の BAL LINE-1,2 の位相反転設定が可能になります。(⑥ の 6 段目の表示)  
更に ENTER スイッチを押すと、(2) の設定に戻り、再度バランス入力の BAL LINE-1 の位相反転設定がおこなえます。  
PRESET スイッチを押すと、次の REC OUT 設定に進みます。
- (7) ▲あるいは▼を押すと、バランス出力の BAL LINE-1,2 の位相が反転し 3-,2+ の表示にかわります。(⑥ の 7 段目の表示)  
もう一度▲あるいは▼を押すと、元の位相設定の 3+,2- にもどります。  
[PRESET スイッチを押すと、次の REC OUT 設定に進みます。]
- (8) 次に ENTER スイッチを押すと、(2) の設定に戻り、再度バランス入力の BAL LINE-1 の位相反転設定がおこなえます。  
PRESET スイッチを押すと、次の REC OUT 設定に進みます。  
どの状態でも、PRESET スイッチを押すと設定が決定され BAL PHASE を終了し、次の REC OUT 設定に進みます。  
また、1 分間入力をおこなわないと事前の設定を記憶した状態でこのモードを解除し、通常  
の表示に戻ります。



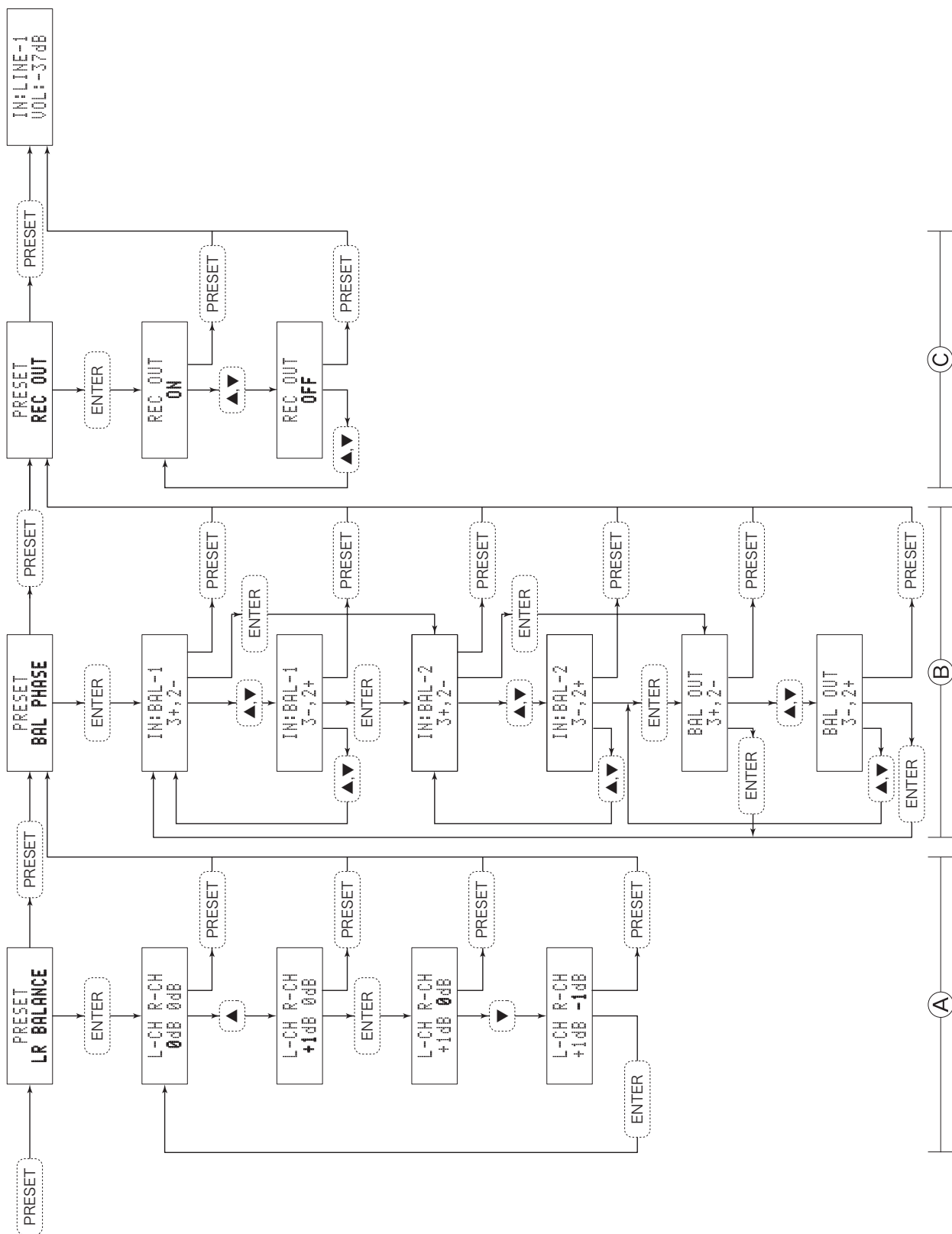


图 1

## リモコンの名称と用途

### 録音出力端子オン・オフ設定／PRESET REC OUT

録音出力端子への音楽信号供給をオン・オフすることができます。

レコーダーで録音をする場合は、オンに設定します。

純度の高い音楽再生を楽しむ場合は、オフに設定します。

- (1) PRESET スイッチを 3 回押します。Ⓒ の 1 段目の表示に変わり、プリセット・モードになります。  
REC OUT の文字が点滅しますので、オン・オフ設定をおこなうときは ENTER スイッチを押します。オン・オフ設定をおこなわないときは PRESET スイッチを押すことでプリセット・モードを解除し、通常表示にもどします。
- (2) ENTER スイッチを押した場合、現設定の ON(or OFF) が点滅し、REC OUT のオン・オフ設定が可能になります。(Ⓒ の 2 段目の表示)  
ここで PRESET スイッチを押すと、プリセット・モードが解除され、通常表示にもどります。この状態で ENTER スイッチを押しても ENTER スイッチは動作しません。
- (3) ▲あるいは▼を押すと、OFF (or ON) の表示にかわります。(Ⓒ の 3 段目の表示)  
もう一度▲あるいは▼を押すと、元の ON(or OFF) にもどります。  
オン・オフ設定が終了したら PRESET スイッチを押してください。オン・オフ設定が記憶されプリセット・モードを解除し、通常表示にもどります。  
この状態で ENTER スイッチを押しても ENTER スイッチは動作しません。  
どの状態でも、PRESET スイッチを押すと設定が決定されプリセット・モードを解除し、通常表示にもどります。  
また、1 分間入力をおこなわないと事前の設定を記憶した状態でプリセット・モードを解除し、通常表示に戻ります。

## 10. トーン・コントロール・スイッチ／TONE CONTROL

トーン・コントロール・スイッチを押すごとにオン→オフ→オン……とトーン・コントロール機能のオン・オフが変化します。

再生環境に合わせお好みの音質で音楽をお楽しみいただくときは、このトーン・コントロール・スイッチを押してトーン・コントロール機能をオンにしてください。あらかじめ設定した低域の音量と高域の音量で音楽を楽しむことができます。

また、純度の高い音楽再生を楽しむ場合は、もう一度このトーン・コントロール・スイッチを押してトーン・コントロール機能をオフにします。この時、BASS・TREBLE の設定値は記憶しています。

### バス・スイッチ／BASS

低域の音量を調節するときにこのスイッチを押します。

トーン・コントロール機能がオンのときにのみ低域の音量を調節することができます。

### トレブル・スイッチ／TREBLE

高域の音量を調節するときにこのスイッチを押します。

トーン・コントロール機能がオンのときにのみ高域の音量を調節することができます。

### エンター・スイッチ／ENTER

調節をおこなったあとその設定値を決定するときにこのスイッチを押します。

### ▲スイッチ／UP

### ▼スイッチ／DOWN

音量を変化させるときにこのスイッチを押します。

## 低域音量調節／ BASS

トーン・コントロール機能がオンのときにバス・スイッチを押します。

- (1) バス・スイッチを押すと BASS:0dB が点滅しバス調節モードになります。(図2の1段目の表示)  
低域の音量調節をおこなわないときは ENTER スイッチを押してバス調節モードを解除し通常表示にもどします。
- (2) ▲を押すと、1dB ステップで低域の音量が大きくなります。  
▼を押すと、1dB ステップで低域の音量が小さくなります。  
± 8dB/100Hz の範囲で調節可能です。  
例) ▲を一度押すと、+1dB の表示になります。(図2の2段目の表示)  
▲をもう一度押すと、+2dB の表示になります。(図2の3段目の表示)  
▼を一度押すと、+1dB の表示になります。(図2の4段目の表示)
- (3) 低域の音量が決定したら ENTER スイッチを押します。  
設定値が記憶され、バス調節モードを解除し、通常表示にもどります。  
どの状態でも、ENTER スイッチを押すと設定値を記憶したあと、バス調節モードを解除し、通常表示にもどります。

## 高域音量調節／ TREBLE

トーン・コントロール機能がオンのときにトレブル・スイッチを押します。

- (1) トレブル・スイッチを押すと TREBLE:0dB が点滅しトレブル調節モードになります。  
(図3の1段目の表示)  
高域の音量調節をおこなわないときは ENTER スイッチを押してトレブル調節モードを解除し通常表示にもどします。
- (2) ▲を押すと、1dB ステップで高域の音量が大きくなります。  
▼を押すと、1dB ステップで高域の音量が小さくなります。  
± 8dB/10kHz の範囲で調節可能です。  
例) ▼を一度押すと、-1dB の表示になります。(図3の2段目の表示)  
▼をもう一度押すと、-2dB の表示になります。(図3の3段目の表示)  
▲を一度押すと、-1dB の表示になります。(図3の4段目の表示)
- (3) 高域の音量が決定したら ENTER スイッチを押します。  
設定値が記憶され、トレブル調節モードを解除し、通常表示にもどります。  
どの状態でも、ENTER スイッチを押すと設定値を記憶したあと、トレブル調節モードを解除し、通常表示にもどります。

# TONE CONTROL 調節モードの時

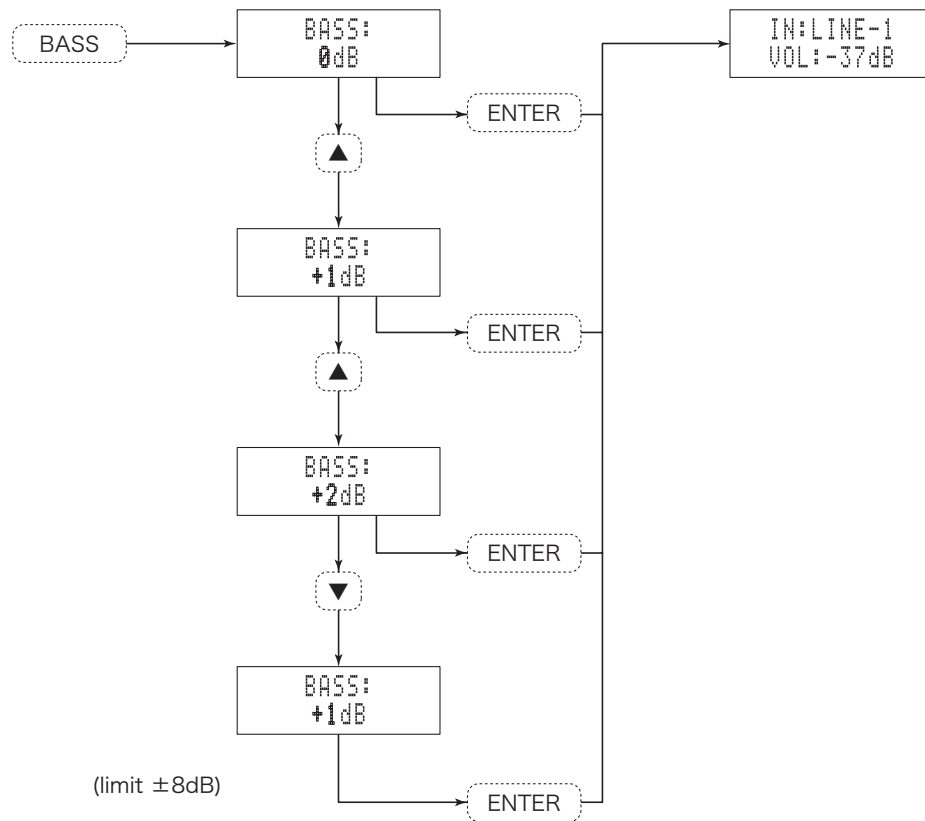


図 2

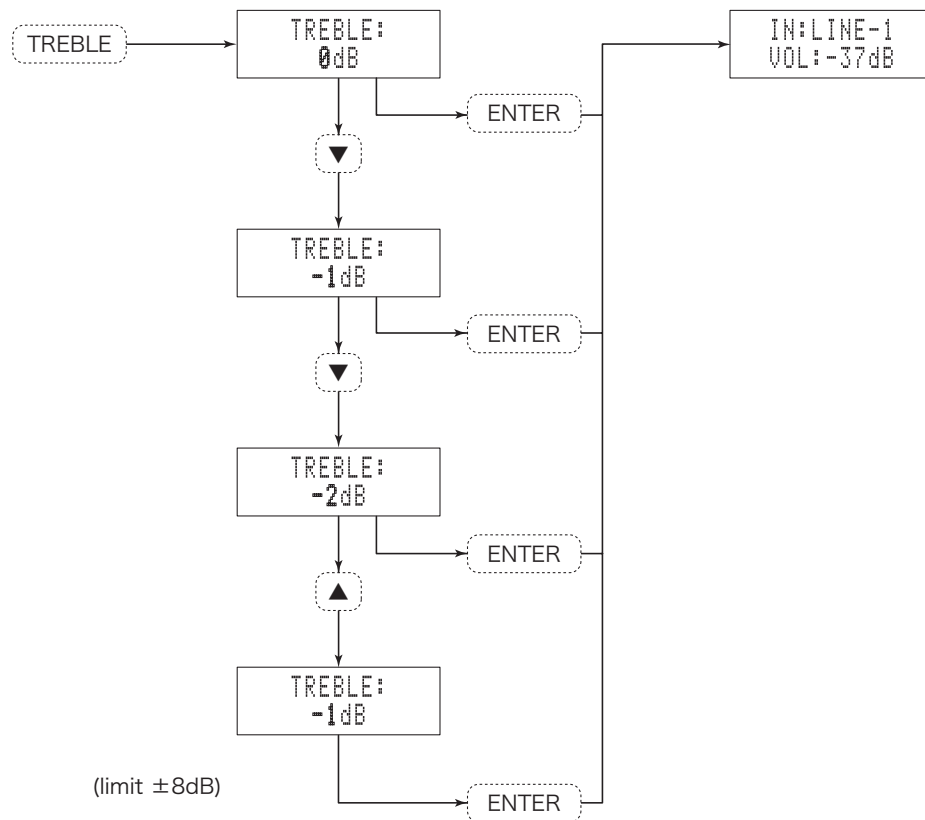


図 3

## 11. 各設定の記憶

オペレーション OFF 時に記憶される直前設定を下記に示します。

項目	設定/値	例
INPUT	直前設定	LINE-1
OUTPUT MODE	直前設定	BALANCE
VOLUME	直前値	-36dB
BAL INVERT	直前設定	INVERT
TONE CONTROL	直前設定	OFF
BASS	直前値	+2dB
TREBLE	直前値	-1dB
MONITOR	直前設定	OFF
REC OUT	直前設定	OFF
LR BALANCE	各設定の直前値	L-CH-1dB、R-CH+1 dB
BAL PHASE	直前設定	INPUT-1:3-,2+, OUTPUT:3+,2-
DIMMER	直前設定	やや暗い

- ・ MUTE は記憶されずオペレーション OFF とともに解除されます。
- ・ オペレーション・スイッチを押さずに直接メイン電源スイッチを OFF すると、ボリュームの値を除き同様に記憶されますが、ボリュームの値はミュート状態に設定されます。

## 12. リセット方法

全ての設定、調節値を出荷時の設定に戻すには、以下の操作をおこないます。

- (1) 本機をスタンバイ状態にします。
- (2) 本体のオペレーション・スイッチを5秒以上押し続け、オペレーション・スイッチを押した状態でリモコンのディマーマ・スイッチを1回押します。  
これで操作完了です。

工場出荷時の設定

項目	設定/値
INPUT	LINE-1
OUTPUT MODE	UNBALANCE
VOLUME	--dB
BAL INVERT	ノーマル /NORMAL
TONE CONTROL	ON
BASS	0dB
TREBLE	0dB
MONITOR	OFF
REC OUT	ON
LR BALANCE	L-CH:0dB、R-CH:0dB
BAL PHASE	INPUT-1,2:3+,2-, OUTPUT:3+,2-
MUTE	OFF
DIMMER	MAX (最大輝度)

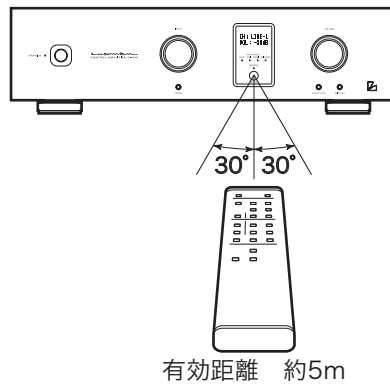
### 13. 禁止表示および注意

設定を変化させるときに、設定を変えることのできない場合があります。この場合、下表のようなエラー表示がでます。

現在の設定	変化しようとした設定	表示	注意
INPUT:LINE-1,2,3,4,5 OUTPUT MODE:UNBALANCE BAL INVERT:NORMAL	BAL INVERT	UNBALANCE MODE!!	入力と出力ともにアンバランスのときは、バランス位相は反転できません。
INPUT: 全て入力 OUTPUT MODE: 全て出力 TONE CONTROL:OFF	BASS TREBLE	TONE CONT. OFF!!	TC:ON のときだけ BASS と TREBLE の音量調節が可能です。

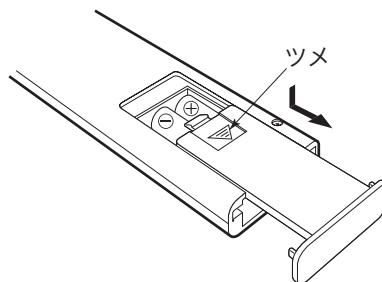
## リモコンについて

リモコンは、本機のリモコン受光部に向けて、図の範囲でお使いください。



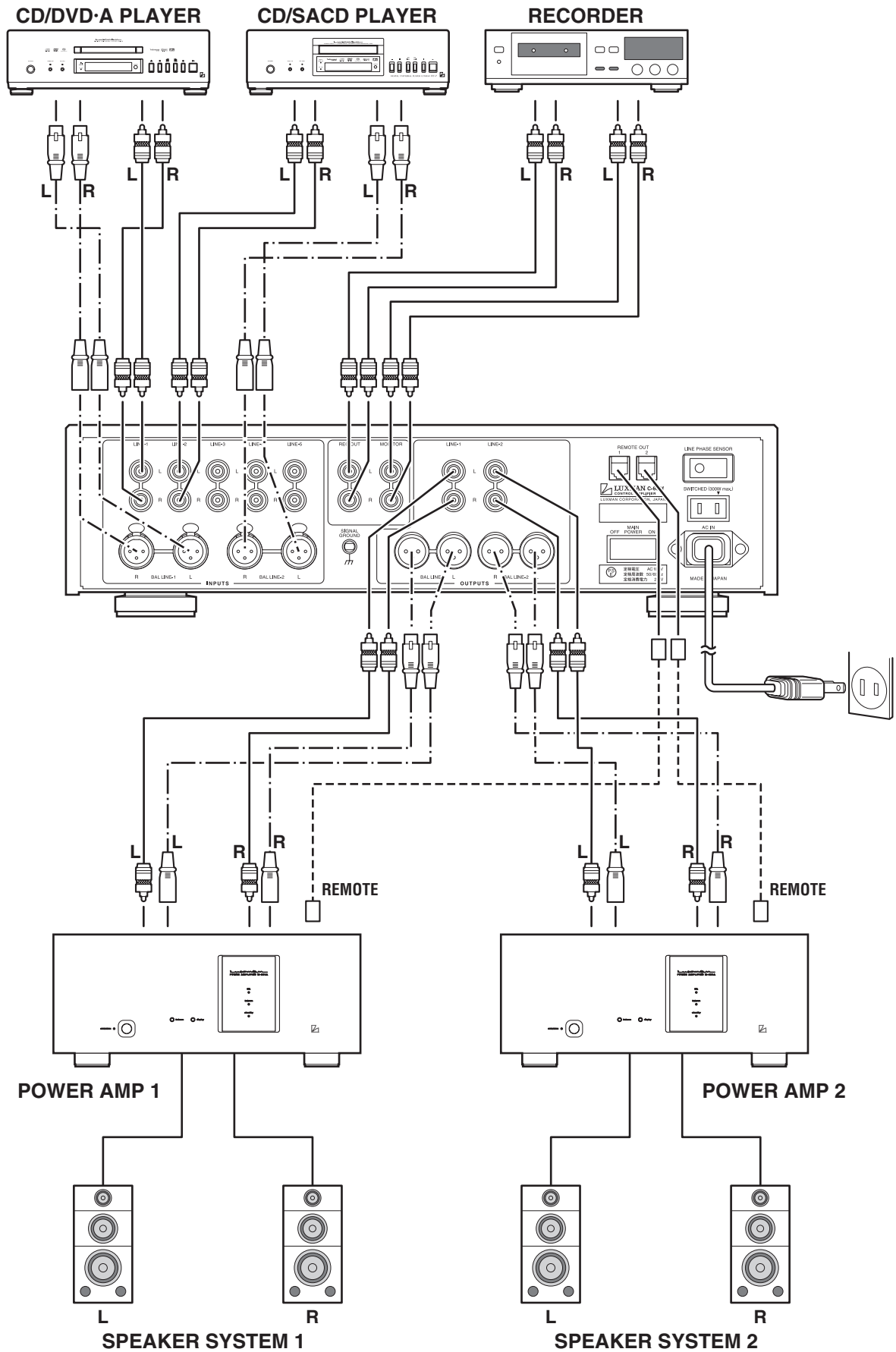
### 乾電池の入れ方

- (1) リモコンの裏面にあるバッテリー・カバーをはずしてください。  
バッテリー・カバーのツメに指を乗せて軽く押し、バッテリー・カバーを下にスライドして抜いてください。
- (2) バッテリー・ケースの中の図と同じように電池の $\oplus$  $\ominus$ を合せて単4乾電池を入れます。
- (3) バッテリー・カバーをはずしたときと逆に、下の方からバッテリー・カバーのツメ側をあてがいスライドしてパチッと音がするまで押し込んでください。



※乾電池が消耗してくると、有効距離が短くなったり、スイッチを押しても動作しないことがあります。このようなときは、乾電池を2本とも新しいものに交換してください。

# 接続図





# 接続方法

## 接続する前に

他の機器を接続する前に、付属の電源ケーブルのジャック側（穴が3つある方）を本機の AC インレットに接続してください。

## 電源の接続

付属の電源ケーブルを使用し、AC プラグをリスニングルームなどにある AC100V コンセントに差し込んでください。

電源ケーブルを差し込むときには、ライン・フェーズ・センサーを指先で軽く触れ、インジケータが消える方向に差し込んでください。

マンションなどのコンセントでは、AC プラグを差し替えても点灯したまま、消えたままのことがあります。この場合、どちらの方向でもかまいません。

## 入力端子と CD プレーヤーなどの入力機器との接続

CD プレーヤーなどの入力機器の出力端子と本機の入力端子の間を、ピンプラグケーブルあるいはバランスケーブルで接続します。

このとき、左右のチャンネルを逆に接続しないように十分注意してください。左右のチャンネルを逆に接続すると音像定位が悪くなるなど正常なステレオ再生ができなくなります。

また、ピンプラグケーブルをご使用の場合は、ピンプラグケーブルのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生し、S/N 比が悪化する原因となります。接続プラグは確実に押し込んで接続してください。

本機に接続する入力機器の出力インピーダンスが十分低い場合は、接続ケーブルの長さを特別気にする必要はありませんが、出力インピーダンスの高い入力機器と組み合わせてご使用の場合は、不必要な高域の減衰を避けるために、できるだけ短い接続ケーブルをお使いになることをおすすめします。

## 出力端子とパワーアンプなどの出力機器との接続

パワーアンプなどの出力機器の入力端子と本機の出力端子の間を、ピンプラグケーブルあるいはバランスケーブルで接続します。

このとき、左右のチャンネルを逆に接続しないように十分注意してください。左右のチャンネルを逆に接続すると音像定位が悪くなるなど正常なステレオ再生ができなくなります。

また、ピンプラグケーブルをご使用の場合は、ピンプラグケーブルのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生し、S/N 比が悪化する原因となります。接続プラグは確実に押し込んで接続してください。

## リモート出力端子とパワーアンプとの接続

M-600A などラックスマンのパワーアンプのリモート入力端子と本機のリモート出力端子をパワーアンプに付属している専用リモートケーブル（極性はありません）で接続します。

これにより、本機のオペレーション・スイッチに連動して、パワーアンプの電源を ON/OFF することができます。

リモート出力端子は2系統ありますが、どちらも同じ信号を出力しますのでお好みでお使いください。

専用リモートケーブルは、ラックスマンのコントロールアンプとパワーアンプの接続以外に使用しないでください。本機のリモート出力がショートされるような端子に接続すると故障の原因となります。

---

過大入力からアンプとスピーカーを保護するために、本機と入出力機器を接続する場合は、本機のメイン電源スイッチを OFF にするか本機をスタンバイ状態にしてください。また、本機に接続する入出力機器の電源も OFF にしてください。接続完了後に正しく接続されていることを確認してから本機および入出力機器を動作状態にしてください。

---

## 接続方法

### レコーダーとの接続

レコーダーの入力端子と本機の録音出力端子の間を、ピンプラグ・ケーブルで接続します。

これにより、本機の入力切替スイッチで選択された音楽ソースを聴きながら同じ音楽ソースをレコーダーに録音することができます。

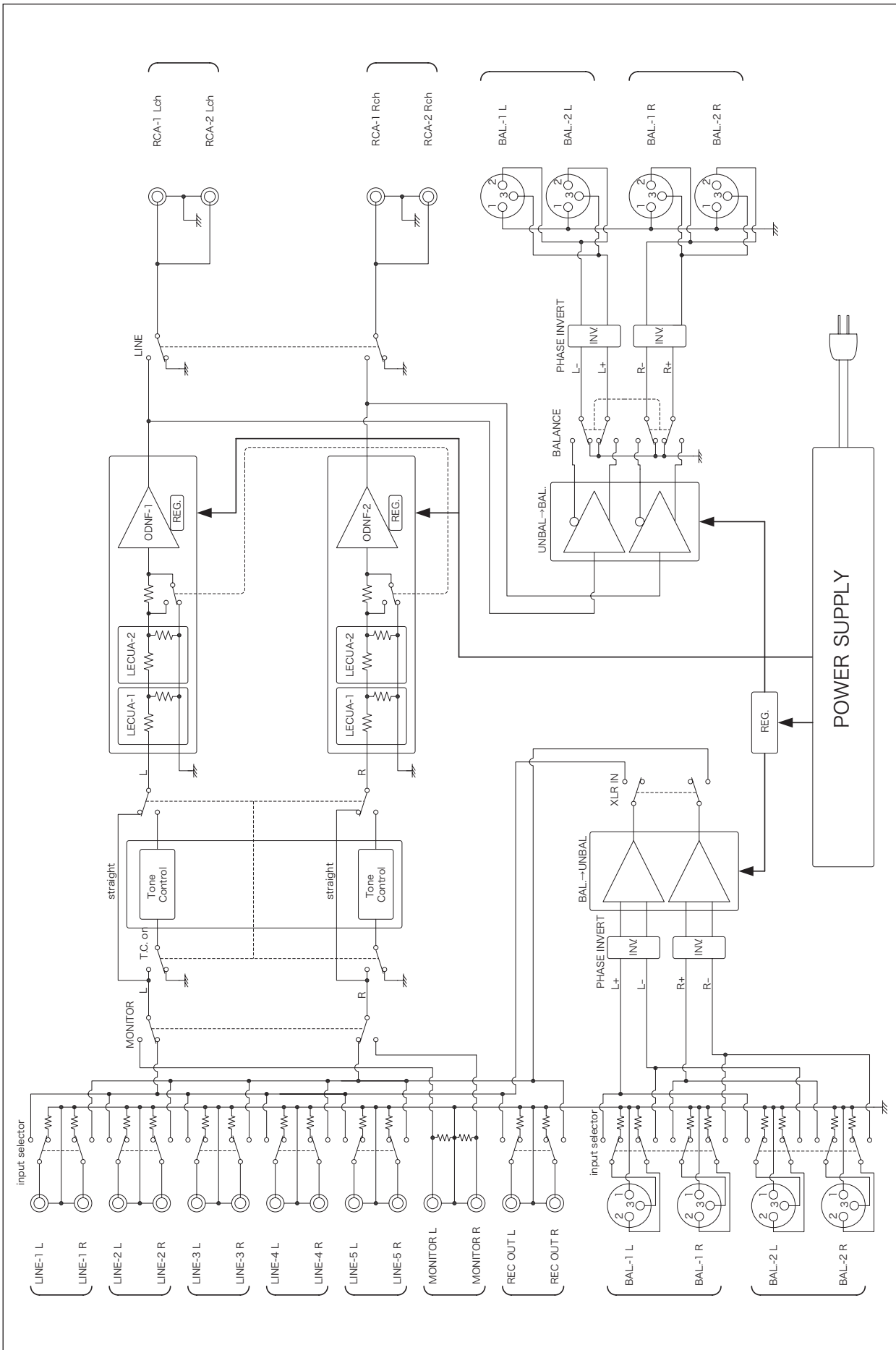
次にレコーダーの出力端子と本機のモニター入力端子の間を、ピンプラグ・ケーブルで接続します。

本機のモニター・スイッチをオンにすることで、レコーダーに録音された音楽ソースを聴くことができ、録音状況を確認しながら音楽をお楽しみいただけます。

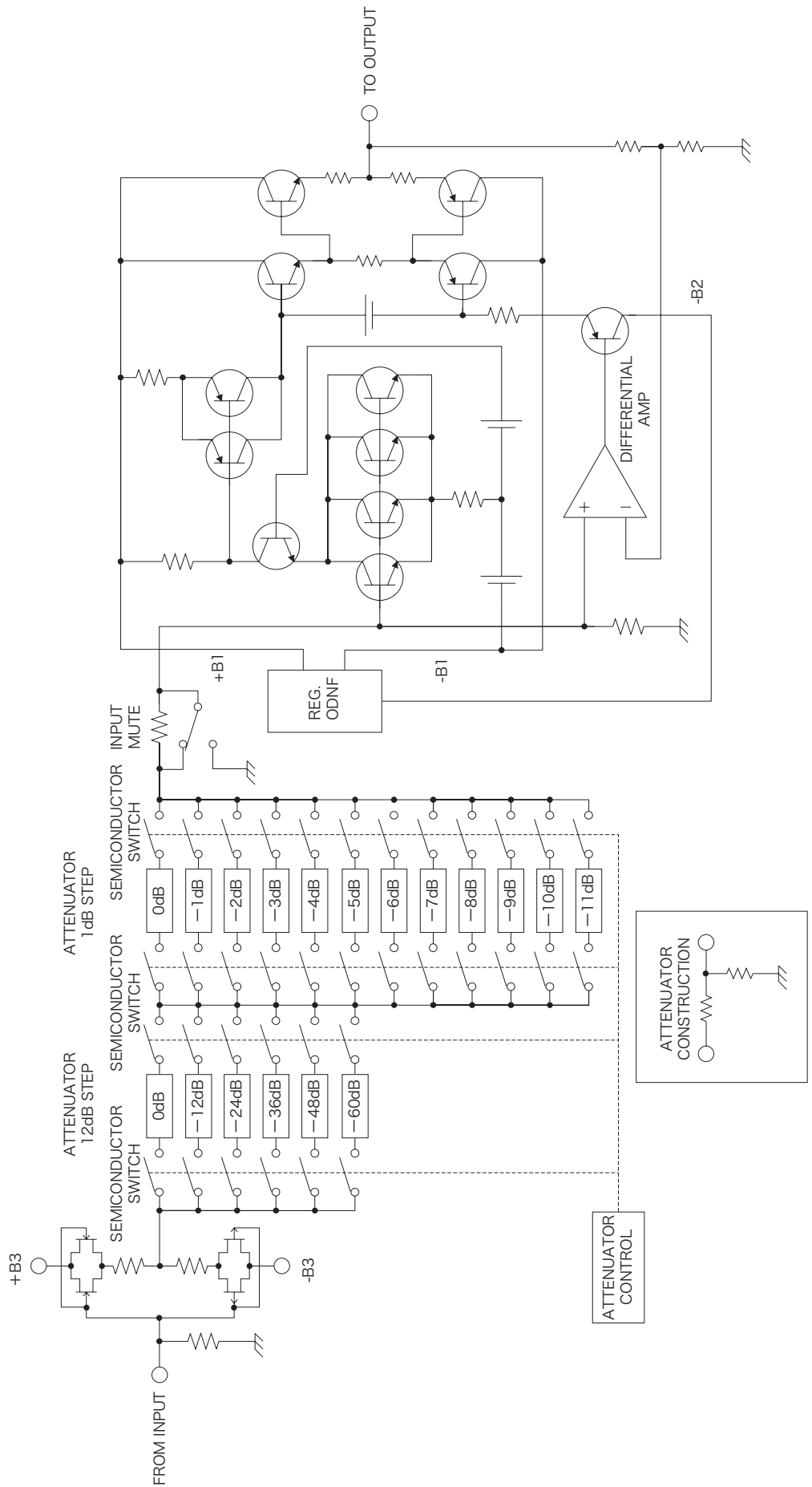
接続のとき、左右のチャンネルを逆に接続しないように十分注意してください。左右のチャンネルを逆に接続すると音像定位が悪くなるなど正常なステレオ再生ができなくなります。

また、ピンプラグ・ケーブルのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生し、S/N比が悪化する原因となります。接続プラグは確実に押し込んで接続してください。

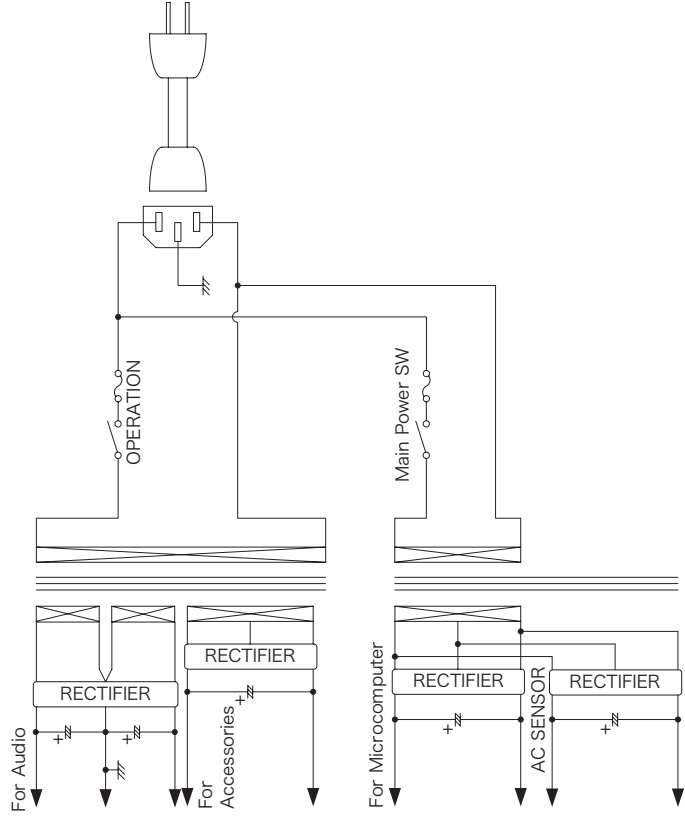
# C-600f BLOCK DIAGRAM



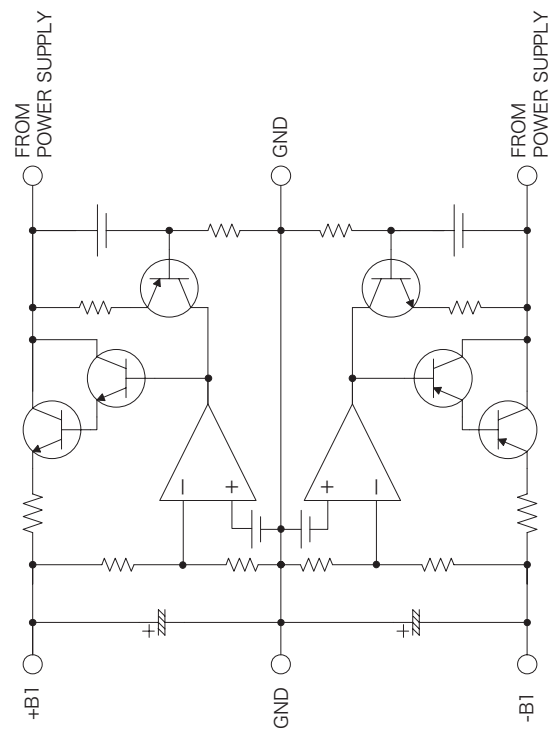
LECUA1000—WM (ATTENUATOR + AMP) / EACH CHANNEL



POWER SUPPLY



REGULATOR FOR AMP



# 規 格

入力感度	LINE	300 mV / 1 V 出力・1 kHz・負荷 50 k $\Omega$ / GAIN 10.5 dB
	BAL LINE	300 mV / 1 V 出力・1 kHz・負荷 100 k $\Omega$ / GAIN 10.5 dB
	LINE → BAL LINE	300 mV / 1 V 出力・1 kHz・負荷 100 k $\Omega$ / GAIN 10.5 dB
	BAL LINE → LINE	300 mV / 1 V 出力・1 kHz・負荷 50 k $\Omega$ / GAIN 10.5 dB
最大出力	LINE	5.8 V / 歪 0.1%・1 kHz・負荷 50 k $\Omega$
	BAL LINE	6.2 V / 歪 0.1%・1 kHz・負荷 100 k $\Omega$
	LINE → BAL LINE	6.2 V / 歪 0.1%・1 kHz・負荷 100 k $\Omega$
	BAL LINE → LINE	5.8 V / 歪 0.1%・1 kHz・負荷 50 k $\Omega$
入力インピーダンス	LINE	47.5 (46.8) k $\Omega$ / 1 kHz ( ) 内は TC ON 時の値
	BAL LINE	67.0 k $\Omega$ / 1 kHz
	LINE → BAL LINE	47.5 (46.8) k $\Omega$ / 1 kHz ( ) 内は TC ON 時の値
	BAL LINE → LINE	67.0 k $\Omega$ / 1 kHz
	選択されていないLINE	33.5 k $\Omega$ / 1 kHz
	選択されていないBAL LINE	67.0 k $\Omega$ / 1 kHz
出力インピーダンス	LINE	564 $\Omega$ / 1 kHz
	BAL LINE	600 $\Omega$ / 1 kHz
全高調波歪	LINE	0.009 % / 1 V 出力・20 Hz ~ 20 kHz・負荷 50 k $\Omega$
	BAL LINE	0.018 % / 1 V 出力・20 Hz ~ 20 kHz・負荷 100 k $\Omega$
	LINE → BAL LINE	0.018 % / 1 V 出力・20 Hz ~ 20 kHz・負荷 100 k $\Omega$
	BAL LINE → LINE	0.011 % / 1 V 出力・20 Hz ~ 20 kHz・負荷 50 k $\Omega$
周波数特性	LINE	+0, -0.1 dB / 1 V 出力・20 Hz ~ 20 kHz・負荷 50 k $\Omega$
		+0, -3.0 dB / 1 V 出力・5 Hz ~ 116 kHz・負荷 50 k $\Omega$
	BAL LINE	+0, -0.3 dB / 1 V 出力・20 Hz ~ 20 kHz・負荷 100 k $\Omega$
		+0, -3.0 dB / 1 V 出力・5 Hz ~ 80 kHz・負荷 100 k $\Omega$
	LINE → BAL LINE	+0, -0.2 dB / 1 V 出力・20 Hz ~ 20 kHz・負荷 100 k $\Omega$
		+0, -3.0 dB / 1 V 出力・5 Hz ~ 80 kHz・負荷 100 k $\Omega$
	BAL LINE → LINE	+0, -0.2 dB / 1 V 出力・20 Hz ~ 20 kHz・負荷 50 k $\Omega$
		+0, -3.0 dB / 1 V 出力・5 Hz ~ 80 kHz・負荷 50 k $\Omega$
S/N 比	LINE	123 dB (IHF-A) / 歪 0.1%, 1 kHz, 負荷 50 k $\Omega$ 対 -71dB 雑音
	BAL LINE	120 dB (IHF-A) / 歪 0.1%, 1 kHz, 負荷 100 k $\Omega$ 対 -71dB 雑音
	LINE → BAL LINE	120 dB (IHF-A) / 歪 0.1%, 1 kHz, 負荷 100 k $\Omega$ 対 -71dB 雑音
	BAL LINE → LINE	120 dB (IHF-A) / 歪 0.1%, 1 kHz, 負荷 50 k $\Omega$ 対 -71dB 雑音
付属品	電源ケーブル	
	リモコン RA-60	
	単 4 乾電池 × 2	
	オーナーズマニュアル	
	保証登録書 安全上のご注意	
消費電力	21 W (電気用品安全法による規定)	
	2.3 W (スタンバイ時)	
電源電圧	AC 100 V (50/60 Hz)	
最大外形寸法	440 (W) × 117 (H) × 407 (D) mm	
重量	13.0 kg (NET)	

※ 規格および外観は予告なく変更することがあります。

## アフターサービスと品質保証について

ラックスマンのオーディオ製品には、個々のパーツの選択から製造工程、出荷にいたるまで、数多くの厳しいチェックを施し、万全の品質管理を期していますが、万一本機が故障したときは弊社サービスセンターまたはお求めの販売店までご連絡ください。状況に応じた出張修理または持ち込み修理をさせていただきます。なお、遠隔地の場合は修理品のご送付をお願いすることもあります。ご容赦ください。

C-600fの保証期間は、購入日より起算して2年間です。この期間中に発生した自然故障は一切弊社の責任において無料修理させていただきます。

保証登録書は、本機のパッキングケース内に入っていますので、お買い上げの販売店で、販売年月日、店名の記入捺印を受けた上、弊社に送付してください。後日、保証書を発送させていただきます。

保証期間内の修理お申し付けの節は、必ず弊社発行の保証書を添えて下さい。保証期間外、保証書がない場合の修理については実費でお引き受けいたします。

## 修理に出される前に

ご使用中に、何らかの原因で故障と間違えることがあります。修理に出される前に下記表、および併用機器の取扱説明書をご覧ください。ひと通りご確認ください。

故障の原因がわからない場合は、弊社サービスセンターもしくはお求めの販売店へお問い合わせください。

なお、修理の依頼をお受けした場合は、故障でなくとも点検代、出張費などを戴くことがあります。

症 状	原 因	対 策
メイン電源スイッチを押しても電源が入らない。 スタンバイ・インジケータ ーが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源プラグがACコンセントから外れているか、確実に差し込まれていない。</li> <li>電源プラグがACインレットから外れているか、確実に差し込まれていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源プラグをACコンセントへ確実に差し込む。</li> <li>電源プラグをACインレットへ確実に差し込む。</li> </ul>
オペレーション・スイッチを押してもオペレーション・インジケータ ーが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>メイン電源スイッチがOFFになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メイン電源スイッチをONにしてスタンバイ・インジケータ ーを点灯させる。</li> </ul>
電源が入り、動作状態になり、オペレーション・インジケ ータも青色に点灯するが、音 がでない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続した入力端子と選択した入力設定があっていない。</li> <li>接続した出力端子と選択した出力モード設定があっていない。</li> <li>接続が確実に行われていない。</li> <li>ボリューム・コントロールもしくはパワーアンプのアッテネーターが絞りが切られている。</li> <li>ミュート状態になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リアパネルの接続した入力端子もしくは音の聞きたい入力端子と同じ入力表示になるように入力設定をあわせる。</li> <li>リアパネルの接続した出力端子もしくは音の聞きたい出力端子と同じ出力モード・インジケータ ーが点灯するように出力モード設定をあわせる。</li> <li>接続を確実に行う。</li> <li>ボリューム・コントロールもしくはパワーアンプのアッテネーターをお好みの音量に調節する。</li> <li>リモコンにあるミュート・スイッチを押してミュート状態を解除する。</li> </ul>
音はでるが、音量が小さい。 片チャンネルだけ音量が小さい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリセットにより両チャンネル（片チャンネルだけ）音量が絞られている。</li> <li>パワーアンプのアッテネーターがONになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリセットをお好みの音量に調節しなおす。</li> <li>アッテネーターをOFFにする。</li> </ul>
低域あるいは高域の音量が大 きすぎる。または小さすぎる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>BASSかTREBLEの設定値が大きすぎるか小さすぎる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>BASSかTREBLEの設定値をお好みの音量に調節しなおす。</li> </ul>
ハム音（ブーン、ジーというノイズ）がでる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続ケーブルのアース側が接触していない。</li> <li>他機器の電源トランスからの誘導ノイズを受けている。</li> <li>入力ケーブルとスピーカー・ケーブルが電源ケーブルに接近しすぎている。</li> <li>オーディオ・システムのなかで、電源ケーブルを通じて接地されているセットがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続を確実にを行う。</li> <li>他機器から離して設置する。</li> <li>入力ケーブルとスピーカー・ケーブルを電源ケーブルから離す。</li> <li>接地されているセットの電源ケーブル・プラグに3P→2P変換アダプターをつける。</li> </ul>



MEMO

# MEMO



